



The
Yegfamily

KANI YEG
2015 SLOGAN 家族

燃えるいのち No.22

MOERU INOCHI No.22



可児商工会議所青年部会長
河邊 広明
有限会社 溝口新聞店

平成27年度は『家族』心から感謝し、許しあえる仲間』とスローガンを掲げ「感謝の気持ちで接しましょう」「遊び心を持ちましょう」「許せる仲間でありましょう」という3つの基本方針を立て活動をして参りました。

スローガンには、『家族』のような仲間でありたいという願いが根本にあります。取って難しい言葉や言い回しは避けて、今思ったことをシンプルに伝えようと考えて作りました。

現在の青年部に必要なのは背伸びしない「ありのままの姿」ではないかとの思いもありました。

私たちは一昨年、皆様のお力添えのもと、東海ブロック大会可児大会という一大事業を達成することができました。

そして迎えた27年度は立ち止まってもう一度組織の中身を見つめ直す絶好の機会と捉え5年先、10年先を見据えた組織の再構築を課題に置き取り組んで参りました。

私達青年部は現在、日本商工会議所青年部に加盟し7年目を迎えます。また、29年度には加盟団体の岐阜県商工会議所青年部連合会が全国大会岐阜大会を主管します。当然ながら、加盟単会として大きな役割を担うこととなります。会全体で一丸となり事に当たらなければなりません。

一方で単会内に目を向けてみると、多くの課題を抱えている現実があります。

部員の減少、定例会等の事業参加率の低下、出向者の輩出問題、活動に則した部費の設定等々、諸問題が浮き彫りになりました。これらの問題を具体的にどう改善していくかを皆で真剣に考えなければならぬ時期にきています。長年にわたり機能してき

た支部体制についての認識も新たな角度から捉え直さなければいけません。そこで課題に取り組みべく、今年度は特別委員会を新たに設け、規約改定など抜本的な見直しを進めて参りました。「可児商工会議所青年部とは何か?」「身の丈に合った活動とは?」「次代に向けて今、何を取り組むべきか?」など自問自答しながら、もう一度原点に戻り、足元を見つめて歩を進めていかなければなりません。肝心なのは、役を担った部員で解決に当たるのではなく、皆で考えていくということです。部員一人一人が自分たちの問題として捉えなければならない大事な節目がもうそこまで迫っています。

いろいろと課題ばかりを取り上げましたが、目の前の問題に対して怯むのではなく、楽しみながら挑んでいくのが青年部の本来の姿です。私自身、困難な事もありましたが、充実した楽しい1年でした。「感謝はするものではなく、湧いてくるもの。」1年を振り返ると部員を始め多くの方に助けていた、いたことが頭に蘇り、温かい気持ちに包まれます。

家族のような仲間を作るには当然時間がかかります。今年1年で完結するものではなく、組織として常に意識をし、継続していくことが不可欠です。新体制になっても許し許され、温かい感謝の気持ちが湧く仲間づくりを、意識して活動して欲しいと切に願います。

最後になりますが1年を通してご支援ご指導いただいた関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

平成27年度 可児商工会議所青年部 役員紹介

会 長	河邊 広明
直前会長	松田 浩一
副 会 長	安江 健一郎
副 会 長	太田 真哉
副 会 長	曾我 伸仁
副 会 長	加納 栄司
副 会 長	菱川 暢之
監 事	鈴木 秋人
監 事	山川 和仁

県連出向理事	河邊 広明
県連出向理事	安江 健一郎
県連出向理事	松田 浩一
県連出向理事	五十川 将史
県連全国大会 県連準備委員会	亀谷 孝太
県連全国大会 県連準備委員会	山口 峻
総務委員長	安江 健一郎
広報委員長	佐橋 徹栄
まちおこし委員長	長谷川 啓仁

研修委員長	五十川 将史
交流委員長	古田 智裕





可児市長
富田 成輝

「燃えるいのち」 第22号発刊を祝して

「燃えるいのち」第22号が発刊されました。心からお祝いを申し上げます。

可児商工会議所青年部の皆様には、日頃より、本市の商業および工業の活性化のみならず、市政各般にわたり格別なるご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。また、自らのお仕事を持ちながら、各地域における支部活動や夏の風物詩として定着いたしました「可児夏まつり」など、日々各種活動を展開され、その行動力に対しまして、深く敬意を表するものであります。

さて、我が国の景気は、内閣府の月例経済報告のなかで、企業収益や雇用情勢が改善しており緩やかな回復基調が続いているとされています。未だ実感できることは少ないかもしれませんが、ハローワーク多治見管内の雇用に関しても、一昨年末時点で1.44倍まで回復していた有効求人倍率が、昨年末には1.88倍と更に改善されています。

その一方で、平成29年4月の消費税率引上げを控え、本年見込まれる駆け込み需要が、前回平成26年の増税時対比で小

さくなるとの予想もあるほか、中国を始めとする新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあると言われており、まさに日本は、今、経済の好循環が拡大し、景気が好転するかどうかの「正念場」を迎えていると言っているのではないのでしょうか。

このような中、本市では「住みごこち一番 可児」の実現を目指し、若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちを創造することを目標に、『高齢者の安気づくり』『子育て世代の安心づくり』『地域・経済の元気づくり』『まちの安全づくり』の4つを重点方針として掲げ、市政運営に取り組んでいます。

それらの実現のためには市民皆様の参画と協働が必要不可欠です。とりわけ『地域・経済の元気づくり』については、貴青年部の皆様に商工業の更なる発展に取り組んでいただくことが極めて重要であり、今後の商工業界を担われる青年実業家としてその持てる力を十分に発揮され、これからの地域のリーダーとして益々ご活躍されますことを期待申し上げます。

最後になりましたが、貴青年部の益々のご発展と部員皆様方のご健勝をお祈りし、お祝いのごとばといたします。



可児商工会議所会頭
渡辺 敏夫

機関誌発刊に寄せて

この度「燃えるいのち」第22号が発刊されますことに対し、心よりお祝い申し上げます。

青年部の皆様には、日頃より商工会議所の活動並びに、地域振興活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、2015年の日本経済は、好調な企業業績や前年を上回る賃上げなどを背景に、全体では緩やかな改善傾向が続きました。しかしギリシャ経済破綻を発端としたEU債務危機に始まり、中国経済減衰、円安、原油暴落、中東をめぐる社会不安とテロ、米国利上げなど、国際情勢の影響による生産や設備投資の減速・国内消費の弱さが目立ち、後半においては停滞色が強まりました。

また、人口減少・超高齢化に直面する中、第3次安倍改造内閣に「1億総活躍担当大臣」が創設され、豊かで活力ある日本の創生に向け、若者・女性・高齢者が意欲を持って活躍できる地域づくりへ具体的な取り組みが始まりました。雇用の拡大、人口流入の促進、人口の

流出防止策を行政と連携し進める上で、我々商工会議所もいくつかの重要な役割を担う必要があると考えております。産業発展には優秀な人材を欠かすことができないという考えのもと、経営者のスキルアップはもとより、後継者・技術者育成など人づくりを通じた企業支援が重要であり、若者の地元雇用を目指したキャリア教育、インターンシップ等の取組み、さらには女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりを重視し、企業の子育て支援制度の改革、改正に向け働きかけを行ってまいります。

また高齢者の定住と健康維持面において企業と連携し、元気な方には「いつまでも働ける場の提供」、特に秀でた技能、技術を有する方、知識、経験の豊富な方を活用し若い人の育成に役立っていただく事が重要と考えています。

青年部の皆様には夏の風物詩「可児夏まつり」の主体運営をはじめ、産業フェアにおけるイベント企画など、今年度も大変ご尽力をいただきました。地域を支える青年経済人の連帯はとて心強く、今後も大きな期待を寄せるものであります。

最後になりましたが、青年部の皆様のご健勝と、青年部の益々のご発展を祈念申し上げます。



研修委員長
五十川 将史
ウエルズ社会保険労務士事務所

今年度の研修委員会は、可児・高山6月合同例会（高山開催）、高山・可児10月合同例会（可児開催）、1月全体例会を担当いたしました。高山開催の合同例会「く共に体験・体感 飛騨の文化」へは、マイクロバスをレンタルし、プロのドライバーに道中の運転を任せることよって、安心・安全に移動できたとともに、普段接することの少ないメンバー同士も交流を深めることができました。

可児開催の合同例会では、地元のFMからの人気MCで、ワインアドバイザーとしても活躍される野田三代様に「高山と可児を新たな感性で結ぶく共栄と醸成」をテーマにご講演をいただきました。話を聞くだけの講演会やワインのテイastingをするだけのワイン会ではなく、既成概念にとらわれない新たな感性を持つヒントを、アトラクションなども通じて楽しみながらつかんでいた、合同例会となりました。1月全体例会では、帷子公民館にて「可児YEGのためのマイナビ勉強会」を開催しました。外部講

師の講演を一方的に聞くのではなく、菱川暢之副会長と曾我伸美君、私五十川の3名のメンバーが講師となり、メンバー同士でマイナビについて教え、学びあう場を提供することができました。何度も事前に開催した勉強会では、メンバーから多くの意見や質問をいただくことができ、それらを反映させた実践的な勉強会となったものと思います。

最後になりますが、青年部へ入部し2年目で研修委員長を仰せつかりましたが、河邊会長、加納副会長、諸先輩方、メンバー、事務局の皆さまに御指導・御支援いただき、無事に任を終えることができました。1年間ありがとうございました。





総務委員長

安江 健一郎

有限会社 安江電気工事

本年度総務委員長ということで青年部活動へ参加させていただきました。27年度は河邊会長の「家族」というスローガンの下、総務委員長として屋台骨を支えるために自分なりに活動できたのではないかと思います。

4月の総会においては昨年に引き続き厳粛な雰囲気の中、多くのメンバーの協力の下無事進行ができました。その際には来賓をはじめOBの皆様にも審議の行方を見届けていただき、また懇親会では盛大に27年度の出発を祝っていたいただき誠にありがとうございます。12月の臨時総会では青年部をあげて数か月議論を重ねた議案が承認されました。今まであまり話題に上がらなかつたところにも光をあてメンバー問わず話してきた結果を成立させるため今までにない緊張を感じた臨時総会でもありました。また忘年会には渡辺会頭にも出席をいただくことができ特に若手メンバーと交流を深めていただけました。普段直接お話す機会がない中でいろいろと意見交換をしていたいただき、貴重な時間をありがとうございました。

した。

総務といえば、裏方というイメージがありますが今年度はまさにそこにスポットライトが当たった1年でした。前年度には東海ブロック大会可児大会もあり、偉業を成し遂げた後可児YEGがこれからどう動いていくのか試されるなか、よりよい運営のために青年部の問題点をベテラン、若手交えて話し合える機会を特別委員会という形で作ることができました。地道なことです。新しい可児YEGの第一歩が踏み出せたのではないのでしょうか。

よりスムーズな運営のために、例えば昨年度より実施しています総会の出欠、委任状をATでいかにストレスなくわかりやすく使っていたかなど自分なりに工夫したつもりでしたが至らぬ点もあったと思います。しかしながら、メンバーの皆さんお力添え、事務局のみなさんからのアドバイスなど有意義な会運営をとりおこなうことができたこと感謝申し上げます。

ありがとうございました。





広報委員長
佐橋 徹栄
テツ水 どう舎

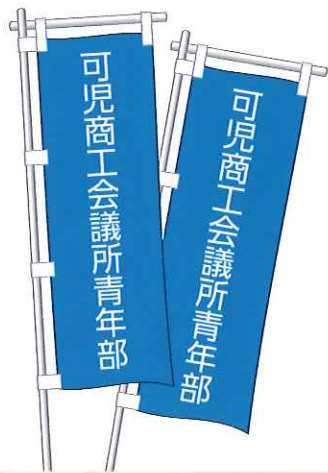
一昨年の年末に広報委員長という大役の話を頂いた時、正直自分に務まるのか不安ばかりでした。人前で話をすること、委員会の仕事を円滑に進めていくことができるのだろうか・・・と頭を抱えましたが、今年度可児YEGスローガンである「家族 ～心から感謝し許しあえる仲間～」という心強い言葉に背中を押してもらい引き受けました。

広報委員会の委員のみなをはじめ、たくさんの方々のおかげで、ながら、ハンドブック、名刺の作成、そしてホームページの更新を行いました。ハンドブックの作成では、昨年度までは手帳型として配布しましたが、今年度に於いてはPDFにすることで資源の削減を実現し、より便利に使えるようにしました。それから最後に、この「燃えるいのち 第22号」の発行です。

それぞれの活動を一つ一つ形にしていく中には大変な事も多く、悩むことも、戸惑うこともたくさんありました。しかしそんな時はいつでもアドバイス

してくださる先輩がいたり、惜しみなく協力してくれる青年部の仲間がいました。そして、広報委員としてより青年部を知っていたために真剣に話し合いを重ねたりしました。だからこそ、形となった物を見た時には本当に感慨深いものがありました。

最後になりましたが、1年間の活動を無事に終える事ができたのも青年部という家族の様な仲間のおかげだと心から感謝しています。そして、活動を通して得たものを生かして行ける様、更に努力していきたいと思えます。本当にありがとうございます。



可児商工会議所青年部
平成27年度通常総会

TOP PAGE | SCHEDULE | CONTENTS | ADMISSION | CONTACT

最新情報
1月例会「可児YEGのためのマイナンバー勉強会」
2016/02/08 総務委員会

1月15日(金)に研修委員会主催の1月例会「可児YEGのためのマイナンバー勉強会」を開催しました。今回の例会は、可児YEGのメンバー全員が主役！例会当日は、外部講師を招いて講演を一方的… 続きを読む

12月例会 忘年会・臨時総会
2016/01/05 総務委員会

去る12月17日(木)に総務委員会主催の12月例会「臨時総会・忘年会」を実施いたしました

青年部員募集
地域貢献 資質向上 人間力

The Yegfamily
燃えるいのち No.22
MOERU INOCHI No.22

平成27年度
KANI YEG HAND BOOK
YEG
可児YEG
可児商工会議所青年部



交流委員長

古田 智裕

ペーカリーたつや

今年度、河邊会長から交流委員長を頼まれた時にとにかく「楽しい」事をやりたいと思いました。県連大会・東海ブロック大会と大きな行事が有り、自分たちが楽しめる例会を開いていないと思ひ、会長の所信にもあつた「家族」も参加できる例会を考えました。

2月の全体例会では家族も参加の例会で関市の「ふる里農園 美の関」でいちご狩りとバーベキューを行いました。青年部員だけでなく家族も一緒に参加してもらうことで部員同士の交流だけでなく、家族への日頃の青年部活動の理解とともに家族間交流も行い子供から大人まで多くの方に楽しんでもらえた例会だと思ひます。

そして、会長から総会の懇親会と忘年会の余興を頼まれました。総会では役員紹介でそれぞれの家族写真を紹介しました。初めての試みでしたがそれぞれの写真から温かい家族の温もりがありました。忘年会ではゲームを行い楽しんでもらえた時間になりました。また、今年から新入部員の歓迎会と昨年度から行っている卒業部員を送る

会を行いました。歓迎会では、新入部員の方には青年部のことを知っていたら、また現部員の方には新入部員との交流を深める場として開催しました。同時に行つた送る会では、今年度2名の方が卒業されました。青年部の為に頑張つていただきありがとうございました。

「家族」をテーマに考えて1年間やってきました。青年部活動は家族の支えなしでは出来ないと思ひています。僕はまだ独身ですが、こんな家族が出来たらいいなと思ひました。1年間ありがとうございました。





まちおこし委員長

長谷川 啓仁

長谷川工業所

27年度委員会活動を振り返って

エア実行委員会の皆様、OBの諸先輩方、青年部員、そして事務局の皆様の方、多大なるご支援、アドバイスをいただくことで予想をはるかに超えるご応募を頂く事が出来ました。

今年度2期目となるまちおこし委員長の話を聞いた時、まず初めに「もつと地元を愛したい」という思いがありました。私が産まれた昭和50年の可児の人口は約39,000人、現在では約10万人となり可児町から可児市へと発展を遂げる中で、守られてきた伝統や新たな風景にはみなさん独自の思い出やこだわりがあると思います。その思いを共有することで、きづぎや発見となりより深く知る事が郷土愛に繋がると考え、可児をテーマにカレンダー作成するための、「わたしたちの可児シーン」と題したフォトコンテストを産業フェア内で開催しました。

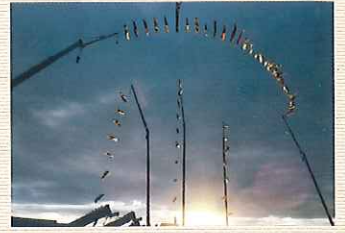
2月から委員会で綿密に練ったはずの計画でしたが作品は思ったように集まらず大苦戦していましたが、渡辺会頭をはじめ、藤田実行委員長、産業フ

ォトコンテスト会場では、来場していただいたお客様に投票していただきましたが、ご家族で何週も見て回られ、「なつかしい」「ここは知らないかった詳しく教えて」など嬉しい反響もあり、カレンダーを手にした方からもお褒めの言葉を頂きました。まだ少しかもしれませんが、地元を昨日より好きになっていただけたのではないかと思います。

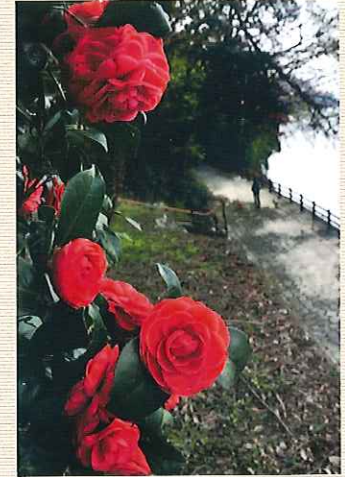
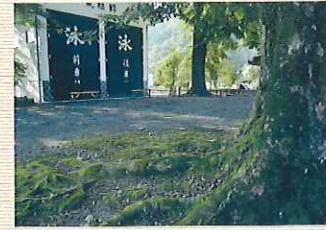
今回の事業では、当初企画の内容ばかりにとらわれ参加していただく方への配慮が欠けていたり、順序立てた事業の進め方ができておらず対策に追われるなどそのたびに皆様の援助によりやりきる事が出来ました。皆様のおかげで本当にいい経験が出来たと思っています。この場を借りてお礼申し上げます。

フォトコンテスト作品集





私たちの「可憐シーン」





可児夏まつり2015実行委員長
松田 浩一
有限会社 マツダ

平成27年度の可児夏まつり2015を8月8・9日に、天候に恵まれ開催致しました。開催にあたりまして、可児市並びに、可児商工会議所、そして可児市内を中心とした企業さまから多大なるご支援を賜りました事を、厚く御礼申し上げます。

さて、「可児夏まつり」は例年、可児商工会議所青年部が実行委員会を立ち上げ、関係各位、地域の皆様とともに、まつりを楽しみにしている子供たちや多くの来場者に良き思いでにたっていたるように、約半年をかけて準備しています。会場は可児市役所東駐車場とふるさと川公園をメイン会場とし、初めてとなる総合会館をサブ会場としました。昨年は台風の影響で直前でまつりの中止を決めざるを得ませんでした。その悔しい思いと、新たな風で2年分が詰まったものとなりました。ここで各委員会ごとにまとめてみたいと思います。

お化け屋敷」を開催。入場制限をするほど盛況でした。市民ボランティア参加の協力と毎晩の製作活動等、初委員長にとつてすべてが未知であり苦労したと思うが、仲間と助け合うことにより、人財のありがたみを得たと思えます。

火花委員会・・・噴き上げ花火として定着した可児の花火。限られた場所での最高のパフォーマンスを得るため関係部署との交渉など、華やかさの裏に地道な努力があります。「安心・安全」に努めて、感動を提供していきたいと思えます。

踊り委員会・・・地元ダンスチームと、太鼓演奏の発表、そして2日間にわたり「BON舞」を行いました。夏まつりといえば盆踊りといわれるイベントです。やぐらを囲む2重3重の輪が今年もできました。年々チームのレベルが上がり、出場制限をするほどになってきました。まつりの華は今年も変わらずでした。

会場委員会・・・まつりには欠かすことのできないのがこの会場委員会、各

委員会からの要請を受け、資材発注からやぐら設営、人員確保、そして清掃活動にいたり最初から最後まで休む間もなく活動してくれました。会場なくしてまつりなし。

渉外委員会・・・安心安全なくしてまつりはできません。交通警備計画、警察との交渉、花火時の誘導まで、期間中気が抜けなかつたと思います。会場での交通事故等がなく、危険が無い様に配慮できたのも渉外委員会の頑張りでした。

広報委員会・・・夏まつりポスターの作成から、イベント告知、地元メディア出演PR、主な活動です。みんなの企画をより良い方法にて市民にPRしてもらいました。また、財務担当としての企業協賛活動では、募金をお願いするときの心苦しさを感じたと思えます。十分な予算建のおかげで、イベントが出来たのは広報委員会のおかげです。

総務委員会・・・今年の目標は、組織運営改革をしました。メンバーの負担を軽減する会議運営。夜7時より弁当付会議を行いました。実行委員会の会議疲れによるモチベーションダウンを避けたかつたからです。全委員会をまとめ上げ両日にわたつてすべての窓口であつたおかげで委員長はのびのび動けたと思えます。

私は歴史ある可児夏まつりの実行委員長をこの組織で務めさせていただくことが出来て本当に感謝しています。人生においてかけがえのない時間と経験を得ることが出来ました。

これからの夏まつりは、今まで以上に市民の皆様、子供たち、来場者に喜んで頂けるように、関係諸団体と協力しあい地域に長く根付いたものであつてほしいと願います。最後になりましたが、会議所事務局の皆様のご支援と、何と言いましても無理を言つて役を引き受けてくれた委員長のみなさん本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。





- | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-------|--------|-------|-------|----------|---------|----------|---------|--------|-------|-------|-------|
| 監事 | 踊り副委員長 | 踊り委員長 | 渉外副委員長 | 渉外委員長 | 広報委員長 | イベント副委員長 | イベント委員長 | 会場環境副委員長 | 会場環境委員長 | 花火副委員長 | 花火委員長 | 総務委員長 | 実行委員長 |
| 山川和仁 | 亀谷孝太 | 菱川暢之 | 古田智裕 | 山口峻 | 佐橋徹栄 | 貞本尚洋 | 渡辺雅人 | 太田真哉 | 林伸彦 | 奥村真吾 | 本田秀樹 | 渡辺博行 | 松田浩一 |

可児夏まつり
2015
実行委員



夏まつりインタビュー



花火委員長 本田 秀樹



Q. 委員長をやってどうでしたか？

やっぱり花火が上がったときは本当に感動しました。隣にいたMCの方と手を取り合って喜んだのを覚えています。そのときMCの方と手を繋げたことが一番の思い出ですね（笑）

Q. 辛かったことは？

花火委員長として準備の段階からずっと花火会場にいて、他のメンバーとは別行動をすることが多かったの、一人で寂しかったですね。それに、1日目の花

火が終わって片付けをして会場に戻ってきた時には、他のメンバーはもう解散して各自打ち上げに行っていました。僕、忘れられていたんですよ……。そのときは、青年部ってこういうところなんだ……。って思いましたね（笑）

Q. 今後の夏まつりについて

今後は周囲を気にしないでいいところで花火ができればいいかなと思います。

総務委員長 渡辺 博行



Q. 委員長をやってどうでしたか？

青年部最後の年だったので、気楽に過ごすつもりだったんですが、ここで総務委員長という大きな仕事をやることになりました。大変だったけどやってよかったですね。

Q. どんな思いでやりましか？

自分が入ったばかりのときは、夏まつり実行委員会は夜中の1時半ごろまでやっていたのでもう少しコンパクトできないかなと思っていました。自分もそうだし他の人も負担が大きかったように思います。自分が実

行委員長をやったときに、委員長のなり手がなくて、それをよく実感しました。

そんなことがあって、今年は自分が総務委員長になって夏まつり実行委員会をコンパクトにすることに努めました。それが一番の成果であり後輩にこれを引き継いでいって欲しいと思います。

Q. 後輩にひとこと

後輩には青年部に入ったからには、夏まつりの委員長は必ず一回はやって卒業して行ってほしいなあと思います。そうすれば、卒業したあとに思い出話ができますからね。

踊り委員長 菱川 暢之



Q. 委員長をやってどうでしたか？

楽しかったですね。来場者集まって楽しく踊っている姿を見てステージ場から感動しました。これはやってみてはじめて見える光景だと思います。

Q. 大変だったことは？

まず踊り委員長の僕が踊りを踊れないというところから始まったので、踊りを覚えることが大変でした。練習会を開いても他の委員会と重なってなかなか人が来ないこともありましたね。

Q. 今年変えたことは？

女性会にかかる負担がかなりあったから女性会に負担のかからない曲構成にしました。

Q. 今後の夏まつりについて

踊ろまいかとか可児音頭2000とかを市内の学校のカリキュラムに入れてもらえるともっと広がるのかなあと思います。学校対抗の踊りもできると面白いと思います。



広報委員長 佐橋 徹栄



Q. 委員長をやってどうでしたか？

一番頑張ったことは当日の写真撮影ですね。今後の資料として残していかないといけないですから。

広報委員としてはほぼ前半で仕事終わってしまいますが一生懸命がんばりました。

会場委員長 林 伸彦



Q. 委員長をやってどうでしたか？

去年は総務委員長をやって、やっぱり自分は総務委員長は向いてないなあと思っていましたが、そして、今年は会場委員長でしたが、最初は嫌だったけど、やってよかったね。

段取りよく時間通りに物事が進ん

で、僕は裏方で動くことが大好きなので満足ですね。

仕事としては会場準備、会場撤収なので、充実感がありました。

Q. 大変だったことは？

どうやって説明したらみんなにわかってもらえるんだろうとか、みんなに段取りを説明するのが大変でした。

イベント委員長 渡邊 雅人



Q. 委員長をやってどうでしたか？

大変だったからこそ終わってみれば楽しかったですね。お化け屋敷では子どもたちの笑顔がたくさん見れてよかったです。

Q. 今年初のお化け屋敷をやると思ったきっかけは？

最初委員長を受けるときに、今までやってないことをやれるといいよね。という話があって、お化け屋敷を

やろうと思いました。今まで総合会館を使ったことがないと聞いていて、近くにあんない場所があるのに使わないのはもったいないと思ったので総合会館を使ってなにかやれたらいいなあという思いから始まりました。

Q. 今後の夏まつりについて

会場全体の連携がとれて一体感ができるようになるといいと思います。

渉外委員長 山口 峻



Q. 委員長をやってどうでしたか？

夏まつりをちゃんとやるのは初めてで、わからないことだらけで大変でしたけど、終わってみれば楽しかったです。

Q. 夏まつりの一番の思い出は？

警備の確認などで会場まわりを自転車で何周もしていたのがいい思い出です。



東海ブロック親睦交流会実行員長
 有限会社 亀谷電気商会
 亀谷 孝太

平成27年7月4日、第13回 東海ブロック商工会議所青年部連合会 親睦交流会を開催しました。平成26年度、可児YEGは「第27回 東海ブロック大会 可児大会」を主管しました。大会を開催した翌年、親睦交流事業を開始するまでが一連の流れとなっております。

第1部は可児市の代表的な産業の一つであるゴルフコース、鳩吹山の自然を感じながら頂上を目指す登山コース、可児に縁のあるフランス人ヨガインストラクターバリコスキーローラン氏を招いたヨガコースと3つのコースを設け、親睦を深めていただきました。また、第2部の懇親会では、参加者全員が一堂に会して交流を深めることができました。

この事業で私が大事にしたことは「人と人が繋がることの大切さ」です。前年度のブロック大会では広報部会長を務め、大会の認知を広めるべくキャラバンとして各単会へ出向きました。単に名刺交換をしたのではなく、例会に参加させていただいたり、キャ

ラバン後の懇親会を設けていただいたりした中で、多くの人と知り合うことができたのは、主管地だからこそできた貴重な体験だったと思います。今回の事業では第1部では各コースで汗を流してもらい、第2部ではその体験をきっかけに交流を深め、この場でしか成し得ない新たな繋がりを作る場になれば、と思いました。実際にご縁が生まれたのであれば嬉しく思います。

最後になりますが、実行委員長に拝命いただいた河邊会長を始め、担当委員会のまちおこし委員会の皆さん、当日スタッフとしてご尽力いただいた可児YEGメンバーの皆さんには感謝の意を表したいと思います。今回経験したことは今後のYEG活動に、社業に、家庭に活かしたいと思えます。ありがとうございました。



日本商工会議所青年部 第33期
 Pass by the Dream
 夢をつなぎ未来を紡ぐ まえ





平成27年度 年間事業報告

- 4/19 岐阜県商工会議所青年部連合会第1回役員会 恵那商工会議所
バラんまる着ぐるみイベント「花フェスタ春の無料感謝DAY」花フェスタ記念公園
- 2/2 全体例会【総務委員会担当】可児商工会議所青年部通常総会 小笠OGMテリークラークCC
- 1/8 バラんまる着ぐるみイベント「メ〜テレドレスカ！出演」花フェスタ記念公園
- 6/6 岐阜県商工会議所青年部連合会第2回役員会 美濃加茂商工会議所
- 7 バラんまる着ぐるみイベント「五感で感じる兼山八景まち巡り」兼山公民館
- 9 可児夏まつり2015カウントダウン看板設置「開催まで60日プレート挿入」
- 1/2 全国大会岐阜大会現地視察 岐阜都ホテルほか《岐阜市》
- 1/3 東海ブロック商工会議所青年部連合会第4回役員会 岡崎市福祉会館
東海ブロック商工会議所青年部連合会会員総会・会長会議 岡崎市福祉会館
- 2/7 高山商工会議所青年部会との合同例会「共に体験・体感 飛騨の文化」飛騨の里《高山市》
- 7/4 東海ブロック商工会議所青年部連合会親睦交流会 富士カントリー可児クラブほか《可児市》可児YEG主管
- 1/5 全体例会【夏まつり実行委員会担当】可児夏まつり2015決起大会
- 17/18 日本YEG第244回役員会 岡山プラザホテル《岡山市》
- 8/2 部員ハンドブック作成配布【広報委員会担当】
- 7 東海ブロック商工会議所青年部連合会第5回役員会 東海市立商工センター
- 8/9 可児夏まつり2015 市役所東駐車場・ふるさと川公園
- 2/2 岐阜県商工会議所青年部連合会第3回役員会 洞戸ふれあいセンター《関市》
県連親睦交流会「アユの掴み取り大会」洞戸観光ヤナ【関YEG主管】
- 9/4 東海ブロック商工会議所青年部連合会第6回役員会 ヒルホテルサンピア伊賀《伊賀市》
東海ブロック商工会議所青年部連合会会員総会・会長会議 ヒルホテルサンピア伊賀《伊賀市》
- 9/5 東海ブロック大会伊賀上野大会 伊賀市文化会館ほか《伊賀市》
- 10/4 バラんまる着ぐるみイベント「花フェスタ秋の無料感謝DAY」花フェスタ記念公園
- 10/9 岐阜県商工会議所青年部連合会第4回役員会 高山グリーンホテル《高山市》

- 24/25 【まちおこし委員会担当】産業フェア in 可児2015「みんなで作る可児カレンダー」フォトコンテスト 可児市文化創造センター
- 3/1 高山商工会議所青年部会との合同例会「高山と可児を新たな歓声で結ぶ～共生と醸成～」可児市総合会館
- 11/8 バラんまる着ぐるみイベント「開店28周年際 ご当地着ぐるみ大集合」ピアゴ川辺店
- 13/14 日本YEG全国会長研修会 ベイシア文化ホールほか《前橋市》
- 1/5 バラんまる着ぐるみイベント「CTKお客様大感謝祭」ケーブルテレビ可児
- 2/3 バラんまる着ぐるみイベント「FC岐阜ホーム最終戦(可児市ホームタウンデー)」長良川競技場《岐阜市》
- 12/6 バラんまる着ぐるみイベント「開店3周年 感謝の開店記念祭」ピアゴ可児店
- 1/2 岐阜県商工会議所青年部連合会第5回役員会 可児市福祉センター
県連研修事業 可児かまど本店【可児YEG主管】
- 1/7 全体例会【総務委員会担当】臨時総会・忘年会 四季の味 鈴川
- 1/15 全体例会【研修委員会担当】「講師例会」惟子公民館
「マイナンバー講習会」五十川将史氏(ウエルス社会保険労務士事務所)
- 2/9 東海ブロック商工会議所青年部連合会第7回役員会 各務原商工会議所
- 2/13 岐阜県商工会議所青年部連合会第6回役員会 JAGぎふ各務原中央営業所
- 1/3 岐阜県商工会議所青年部連合会「第13回県連大会各務原大会」各務原市文化ホールほか《各務原市》
- 19~20 日本YEG全国大会おかやま大会 ママカリフォーラム《岡山市》ほか
- 2/1 バラんまる着ぐるみイベント「可児シティマラソン」花フェスタ記念公園
- 2/8 部員交流会【交流委員会担当】「いちご狩り・バーベキュー」ふる里農園 美の関《関市》
- 3/16 全体例会【総務委員会担当】平成27年度歓迎送迎会 幹幸総本店
- 1/9 岐阜県商工会議所青年部連合会新旧合同役員会 高山商工会議所
- 2/2 臨時総会 可児市総合会館分室
- 2/6 東海ブロック商工会議所青年部連合会会員総会 アスト津《津市》
- 3/1 機関誌「燃えるいのち」第22号発刊(1700部)【広報委員会担当】
年間通じて可児YEGホームページ更新【広報委員会担当】

卒業部員 紹介



渡邊 博行
(有)日生



遠山 廣貴
割烹 味と

新入部員 紹介



飯田 和也
サンキホーム(有)



市原 征伸
リビングイチハラ商事(有)



林 友香
カフェ フィネッセ



森 耕太
酒肴 奥座敷 まる耕



可児商工会議所青年部

編集発行 可児商工会議所青年部
可児市広見1-5 TEL 0574-61-0011 FAX 0574-63-1856
URL <http://kani-yeg.org/> E-mail yeg@cci.kani.gifu.jp

発行日 平成28年3月31日
印刷所 有限会社 ヤマト印刷





青年部員募集中

地域貢献

資質向上

人脈づくり

可児商工会議所青年部は商工会議所の会員事業所の経営者または、その後継者、並びに経営者が青年部への入会を認める役職員で45歳以下の方が入会できる部会です。青年部の活動は、毎月開催される例会、夏には可児夏まつりの運営など、部員が一丸となって取り組んでいます。また、能力開発の勉強会や部員の交流を通じて、強い結束力を持った組織を目指しております。人脈をフルに活用できればきっとあなたの為になる情報があります。目的意識を持ちポジティブに考え共に行動してみませんか？気が付けばいつの間にか入部して良かった青年部となるはずです。

お問い合わせ

可児商工会議所青年部 事務局

TEL 0574-61-0011

